

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	三ツ井芳恵
		全体計画						経費区分		-		内線	245-0407
事務事業名	4313 博物館管理運営事業												
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費											
	事業	020000 博物館管理運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。						資料の収集・保存及び調査研究を行うとともに、特別 展をはじめとする展示活動や各種講座・講演会などの 事業を推進し、市民の生涯学習の場とする。  また、全市をフィールドとした「どこでも博物館」の 活動を推進するため、博物館ボランティア会とともに 活動をすすめる。							

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
特別展（露伴、茂吉、寅彦、小林勇）入館者数 1,729人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 567人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 871人 第1回八丁鎧塚まつり 参加者数 1,650人 臥竜山たんけん（全9回） 延参加者数 188人	特別展（築かれた竜ヶ池） 入館者数 1,328人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 520人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,905人 県安心子ども基金活用の講演会 参加者数 290人 社会資本整備総合交付金事業 まゆぐら改修工事
平成24年度 実績	平成25年度 実績
特別企画展（微隆起線文土器） 入館者数 2,337人 特別展（市内四高校） 入館者数 1,823人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 773人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,210人 博物館「まゆぐら分館」開館（4月1日より）	特別展（山下家秘蔵資料） 入館者数 1,588人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 678人 上杉景勝書状修復・特別公開 入館者数 455人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,634人 小・中学生入館料改定（30～50円を無料に）
平成26年度 実績	平成27年度 予定
市制施行60周年記念特集展 入館者数 451人 特別展（能面） 入館者数 1,461人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 626人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,906人 街頭紙芝居の実施 参加者数 200人	特別展（吉向焼） 館外企画展示「須坂きのこ展」 特集展示（堀家の雛人形など）

指標名	博物館年間利用者数						
算式	8,000					単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標			8,000	8,000		
	実績	10,036	120,101	7,311	10,350		
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。						
最終年度目標の根拠	平成21年度実績値の約30%増						
指標名							
算式						単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		5,639	6,640
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	644	644
一般財源		4,995	5,996
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	1.9	1.9
	臨時職員	0.3	0.3
人員コスト	正規職員	6,172.2	6,172.2
	嘱託職員	5,177.5	5,177.5
	臨時職員	353.1	353.1
	計	11,702.8	11,702.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		17,341.8	18,342.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	520	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	2,492	展示等消耗品費322、燃料費165、印刷製本費(ポスター2回・チラシ2回他)978、光熱水費831、修繕料189 他
13節 委託費	483	警備保障委託、製糸機械清掃委託、清掃業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金(全国・北信越・県)、きのこ展共催負担金
その他	1,991	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	595	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	3,179	特別展示等消耗品、ポスター・チラシ等印刷
13節 委託費	450	館内警備保障委託、製糸機械清掃委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）、きのこ展共催負担金
その他	2,263	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市民が歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、常設展示をはじめとする展示活動及び講座活動を開催する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	平成26年度特別展では能面の展示を行い、普段あまり接することのない「能文化」について親しむ機会となった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	博物館ボランティア会の協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説などの収蔵品活用事業を展開している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の歴史・文化の概観を学ぶ拠点として、いつでも見ることのできる常設展示の充実を図る必要があるが、収蔵品の整理等が不十分であり、収蔵品を常設展示に十分に活かし切れていない。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の安全性については確保する必要がある。地域の総合博物館として、第2博物館の活用を含め、常設展示の整理が必要		良い事業を実施しているので市民等へより一層の広報に努めたい。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	